

科目名	音楽理論Ⅰ		担当教員	悪原 至	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1MTC101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	音楽の演奏や指導に必要な音楽理論の知識を学び、応用できる。				
授業の概要	楽譜の読み書きに必要な楽典の知識を身に付け、音楽の構造や手法を論理的に理解できるよう学ぶ。				

授業計画	
第1回	音・音律
第2回	記譜法① 譜表・音名
第3回	記譜法② 音符と休符
第4回	記譜法③ 略記法、装飾音
第5回	リズムと拍子① 拍子の種類
第6回	リズムと拍子② 強起と弱起、シンコペーション、リズムの記譜法、拍子の変化
第7回	音程（全音階的音程）
第8回	音程① 短音程
第9回	音程② 複音程・転回音程
第10回	音階と調① 長音階、短音階
第11回	音階と調② 近親調
第12回	音階と調③ 移調
第13回	和音① 三和音
第14回	和音② 七の和音（四和音）
第15回	まとめ

事前学修	2時間	新たな講義項目に目を通し、新しく出てくる言葉を把握しておく。また、可能な限り言葉の意味を調べ、疑問点（質問内容）については授業内で質問できるよう整理しておく。
事後学修	2時間	学習したことを整理し、疑問点が残っていないか再度確認する。理解できていない所については、次の授業で質問できるよう準備しておく。
フィードバックの方法	疑問点等を毎時の終了時に聞き、次回の授業でそれに対するフィードバックを行う。定期試験の結果に関して、希望者には研究室等において試験結果を開示し、個々に指導を行う時間を設ける。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	100%	各項目の理解度を問う筆記試験
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

明解 新楽典 音楽を志す 人々のために	近藤圭 他	音楽之友社	978-4-276-10011-4	なし
参考資料	なし			

科目名	音楽理論Ⅱ		担当教員	悪原 至	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1MTC402
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	音楽の演奏や指導に必要な音楽理論の知識を学び、応用できる。				
授業の概要	音楽理論Ⅰで学んだことをさらに発展させ、音楽の構造や手法をより深く理解できるよう学ぶ。				

授業計画	
第1回	音楽理論Ⅰの復習
第2回	記譜法
第3回	音程① 旋律的音程と和声的音程、全音階的音程と半音階的音程
第4回	音程② 協和音程と不協和音程、異名同音的音程
第5回	音階と調① 教会旋法、長音階と短音階、その他の音階
第6回	音階と調② その他の音階、調の関係
第7回	音階と調③ 移調、移調楽器
第8回	音階と調④ 移旋
第9回	音階と調⑤ 調判定
第10回	和音① 基本型と転回型、和音の機能と進行
第11回	和音② 和声と旋律、四声体
第12回	和音③ 終止、異名同和音
第13回	楽曲分析 基礎編
第14回	楽曲分析 応用編
第15回	試験前の最終確認

事前学修	2時間	新たな講義項目に目を通し、新しく出てくる言葉を把握しておく。また、可能な限り言葉の意味を調べ、疑問点（質問内容）については授業内で質問できるよう整理しておく。
事後学修	2時間	学習したことを整理し、疑問点が無いか再度確認する。理解できない所については、次回授業で質問できるように準備しておく。
フィードバックの方法	疑問点等を毎時の終了時に聞き、次回の授業でそれに対するフィードバックを行う。定期試験の結果に関して、希望者には研究室等において試験結果を開示し、個々に指導を行う時間を設ける。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100%	各項目の理解度を問う筆記試験
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

明解 新楽典 音楽を志す 人々のために	近藤圭 他	音楽之友社	978-4-276-10011-4	なし
参考資料	なし			